

ひしもにた

議会だより

発行：群馬県下仁田町議会



国指定史跡の荒船風穴



風穴の温度計（風穴口1.2℃、風穴内14.2℃、駐車場25℃）

あなたと議会を結ぶ

確かな情報と信頼

主な 内容

第二回定例会	2
一般質問	3～5
委員会報告	6～7
広域圏NEWS	7
町の話	8

！このような内容が決まりました！

放射性物質汚染対策事業 旧馬山小学校校舎解体工事

【平成24年第2回定例会】

6月6日～6月15日

議案

◆下仁田町固定資産評価員の選任について
全会一致

◆群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議について
全会一致

◆下仁田町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例
全会一致

◆下仁田町手数料条例の一部を改正する条例
全会一致

◆下仁田町の特別職の職員で非常勤のものの諸給与支給条例の一部を改正する条例
全会一致

◆下仁田町浄化槽整備事業条例の一部を改正する条例
全会一致

◆下仁田町ふるさと定住促進住宅設置及び管理条例
全会一致

◆町道路線の廃止について
全会一致

◆平成24年度下仁田町一般会計補正予算（第1号）
全会一致

陳情

◆義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国の負担割合を2分の1に還元することを求める意見書
全会一致

◆地方整備局の事務所・出張所の存続を求める意見書
全会一致

報告

◆議員派遣の件について

◆平成23年度下仁田町繰越明許費繰越計算書について

◆甘楽郡土地開発公社経営状況の報告について

平成24年

第3回臨時会

5月18日

議案

◆財産の取得について
全会一致

専決処分

◆下仁田町税条例の一部を改正する条例
全会一致

◆下仁田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
賛成多数

◆平成23年度下仁田町一般会計補正予算（第6号）
全会一致

◆平成23年度下仁田町簡易水道事業特別会計補正予算（第4号）
全会一致

◆平成23年度下仁田町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）
全会一致

一般質問

町政を問う

岩崎 正春議員



Q ジオパーク世界認定への課題は

A 世界に通用する獨創性が重要

議員 5月に世界ジオパーク島原大会が開催され、その内容と意義と町のジオパーク推進、あるいは世界認定へ向けての課題は。

推進室長 世界に通用する獨創性と地質遺産の評価ができる学術的資料、国際論文などの有無が重要であり、なおかつジオパークの活動基盤がしっかりしていることが最大の審査基準とのこと。ジオパークのエリア拡大については、新たに再審査が必要になることですが、既存エリアの10%以内であれば、書類申請のみでよいとのこと。

町長 ジオパークに関する諸問題につきましては、1番が町の全体としてのコミュニケーションが必要ととらえております。そこに暮らす人たちの習慣、また風習、そこで生産などが用いられる深い結びつきが重要だ。

議員 町民に対してきめ細かな情報発信の方法はどのように考えているか。

推進室長 携帯端末などで位置情報や解説文などが見られるアプリを導入しているジオパークもあり、今後はそれらの導入とも併せ、ツイッターやフェイスブックの活用についても検討していきたいと考えている。

Q 白髭岩（白髪岩）と林道整備について

A 文化財等の保護や指定を考えていく

議員 町の最高峰にある明治15年に設置された三角点を文化遺産として登録を検討したことはあるか。

産業振興課長 心ない登山客等によって破損や破壊

等をされる恐れがあるものですから、文化財等の保護や指定が完了して、さく等の保護の対策が十分に講じられてから、観光ポイントとして紹介をしていけたらと考えている。

Q 交通弱者対策に対する取り組みや計画は

A 過疎集落への試験的延長運行を検討中

議員 町のスクールバスの再編後の具体的な取り組み、計画内容は。

企画財政課長 タクシー券の助成が行われており、さらに、公共交通空白地対策として、今年度のバス改編期に併せ、過疎集落への試験的延長運行を検討している。

議員 集落支援制度についてどのような対策を考えているか。

企画財政課長 集落への人的支援などを実施、検討していきたい。

総務課長 行政区の統合、集落支援員の継続、集合住宅の建設、また配り物を郵送するなどが考えら

れますが、今回支援員から報告を受けた地区だけでなく、ほかの地区も同じような問題を抱えていると思われるので、早急に検討しなくてはならないと考えている。



世界ジオパーク島原大会会場



Q 3月議会での一般質問、教育委員会の協議結果を伺います

教育課長

① 中学生の海外派遣事業については、平成24年度は派遣先の変更は不可能です。

② バス停付近の道路の横断箇所の安全確認については4月9日に教育課と企画財政課の職員により、国道を中心に確認を行いました。

③ 下仁田高校の存続についての意見書の提出については、当面は不要であるという結論でございます。

④ 教育長の住所は5月8日に、富岡市に住民票の移動を行いました。
議員 ①の質問は24年度の変更は不可能というのは

理解できる。来年度に向けての協議はないのか。

教育長 もっと別の方法もあるかということも含めて、今後検討していかなくちゃいけないだろうという話で終わりました。

議員 ②の質問について、バス停近くに横断歩道があるかの確認は。

教育課長 全てのバス停に横断歩道が隣接した場所に設置されているわけではない。

議員 統合前に小坂小から教育委員会に依頼したという内容は把握されているか。

教育課長 横断歩道を設置して欲しいという内容があります。

議員 しつかりと対応して下さい。横断歩道全体が消えかかっている、あるのか、分らない横断歩道も数多い、子供たちが事故に遭わないように対応、対策をしつかりと願います。

③についての意見書の提出は「当面は不要」とは。教育長 次回の懇談会も決まっておりますし、高等学校の再編の場合には



消えた横断歩道

町から県の教育委員会のほうへ連絡、この辺のところも難しい点はあるかと思えます。

議員 教育長さんは県の開催する懇談会に出席して意見を述べる機会があるが、委員長さんや委員さんは出席されていない。教育委員会の代表は委員長である。委員長さんの

名前で意見書の提出をしていただきたいと思つての質問です。

教育長 言われている内容よくわかりました。

議員 ④について、どんな協議をされたのか。

教育長 今回の場合も教育委員のほうにも話をしました。内容については、一身上の都合ということ

です。

議員 教育委員会の議事録を頂きましたが協議の内容が一切記載がない。

教育課長 委員会終了後の懇談会で話し合いました。

議員 教育委員会の運営に関する法律の3条の6項には「会議は公開する」とある。懇談会ではなく委員会の中で協議するのが開かれた教育委員会だと思う。

木暮 弘元議員



Q スクールバス通学の様子と安全について

議員 登下校の安全配慮点検とその内容は。

教育課長 通学路の安全確保の徹底について関係機関合同の対策箇所抽出等新安全マップ作成に向け再調査中です。

議員 スクールバス運行の課題等について。

教育課長 説明会や乗車体験で多くの要望が出され、可能なものは対応済みです。

議員 バスの安全対策、到着時の様子は。

教育課長 当初7日間担当課職員、教職員が添乗し状況確認安全指導をした。現在もバスロータリーで教職員が指導を継続中だ。その後十分な指導等を確認したので、子供たちだけで通学しています。

教育長 最初は大変な子もいたが今は順調である。議員 私も始発から車で確認したが、17日以降は、遅れるとスピードが出て子供たちは怖かったとの事、把握しているか。

教育課長 委託会社には遵法、交通安全の最優先を改めて連絡指導したい。

Q 児童の様子とバス運行ダイヤについて

議員 教室到着と同時にチャイムが鳴り児童は余裕がなく不安だと話して

いたが朝の学校の様子
は。

教育課長 4月には到着が
遅れた例もあったが現在
はダイヤ通りの運行をし
ています。

議員 この様な登校で精神
面に支障はないか。

教育長 5月保護者アン
ケートを実施。意見や要
望等に対処し、随時話し
合いを進めたい。

議員 登校時間には余裕を
との声があるが。

教育課長 ダイヤ改正は
1、2便との関係、上信
電車との調整項目が多岐
にわたり弊害を招きかね
ないが子供たちの習熟状
況、父兄の意見を集約し
必要なら改正も選択肢の
一つであります。

議員 改正が無理なら始業
時間の検討を願いたい。

教育課長 始業時間も選択
肢から外さず検討した
い。

議員 停留所の整備検討の
要望があるが。

企画財政課長 町バス待合
所設置費交付要綱による
補助制度があります。

議員 通学児童の道路安全
対策と児童の生活状況に

変化があるか。

教育課長 点検し十分に検
討する。生活面では学校
から特に報告はなく様子
を見ています。

教育長 精神的影響には最
大限対応する。

議員 バス通学により体力
低下が懸念されるが。

教育長 学校側と話し合い
体力面、学力面で活力あ
る学校にしたい。

議員 子どもは宝、児童主
体の改善策で早期実施を
要請する。

Q ジオパーク関連地域
の整備、対策は

議員 世界ジオパークに向
け長期計画と年次計画
は。

推進室長 資質向上を最優
先し審査及び申請を見据
え、充実を図りたい。

議員 見学者や地域の安全
確保に携帯基地整備は。

企画財政課長 電波不通地
区に6月現在1社がエリ
ア整備を進めている。

Q 宮室万年橋の通行制
限について

議員 万年橋通行解除の根
拠と基準は。

産業振興課長 昨年5月か
らの通行止めが今年3月
解除された。判断基準は
わかりかねる。土木技師
と検証して劣化状況を地
元に説明し結果、人命を

優先して6月1日再度通
行制限した。今年度修繕
計画策定に着手する予
定。今のところ耐震検査、
耐力試験等は、していま
せん。

議員 約80年の歴史的価値
もあるが保存の考えは。
産業振興課長 検査結果を
見ないと判断がつかない。
その結果次第に従い

たい。

議員 きちんとした根拠の
もとに調査結果を報告し
ていただきたい。



再度通行止めの危険な万年橋「橋脚」

総務常任委員会

行政視察報告

平成24年1月31日（火）長野県富士見町

- ① 昭和30年4ヶ村が合併、富士山を眺められることから「富士見町」の名称となる。
- ② 中学校2校が統合し、跡地に都内の太陽熱実験企業の誘致が図れた町である。
- ③ 1年に1企業の誘致を目標としている。
- ④ 職員の評価結果を見ると、人事評価の良い点は特になし27%、人材育成に否定的28・6%これ等は評価する係長に問題があり、係内ミーティングがされない結果であり、部下と向かい合えない係長がいるとのことであった。
- ⑤ 係長の指導力が問われることになる。標準より低い職員の底上げに努力を要す。



⑥ 制度の目的は「人づくり」であり、日常の業務の目標管理ができること。処遇の反映は「頑張った人が報われる制度」である。

⑦（感想）人事評価については問題が深いが、人材育成としては先ず実施して、調整をしながら処遇に反映できればと感じた。

2 行政改革について
① 平成23年3月、第5次行政改革大綱を策定、達

成目標を数値化した。

② 今後は人口減と少子高齢化、税収の落ち込み、職員の意識改革をは

予算決算特別委員会

付託された議案

平成24年度一般会計補正予算（第1号）について審査いたしました。

Q 国庫支出金のうち社会教育費補助金の減額は、

A 荒船風穴の崩落部の復旧工事を計画しました

が、文化庁より石積み専門家を推薦され指導を受けました。その結果、拙速な積み直しを避け、崩落個所の解体調査を実施し、次年度以降に復旧工

事を行うとするものです。
Q 補正財源に財政調整基金を繰り入れるが残高は。
A 基金残高見込みは、9億262万7千円となります。

Q 群馬県震災緊急雇用創

じめ、新たな視点を加えた更なる改革を行う。改革の実効性を検証するため、「行政評価表」を作

成して目標に対する実施状況と進捗状況を年度毎に点検評価し、報告している。

出事業で除染実施が、行われているが、国の特措法での実施は、どうなっているか。

A 西牧地区が終了し、小坂地区の調査中であり除染後の数値は、ほぼ半減しております。特措法の

部分は、国の交付決定を待っています。
Q 調査後の結果書を各家庭におけないか。

A 区長には、調査状況をお知らせする予定ですが、個々についても対応に努めます。

Q 特措法の周知方法は。
A 13行政区のうち、6会

場で説明会を実施し、他の地区については、回覧及び戸別チラシを配布いたしました。

Q 備品購入の詳細は。
A 線量調査やホットス

ポットを見つけること

や、作業後の汚染量を測定のため、GMサーベイメーター3台、調査使用にシンチレーションサーベイメーター2台です。GMサーベイメーターは、数ヶ月かかるのとことです。

Q 公共施設、町道及び民地の調査費は見込んであるか。

A 今現在の分かる範囲では、全て見込んであります。

Q 馬山小学校を取り壊す予定だが、跡地利用計画は。

A 地元で跡地利用検討会を立ち上げる会議が開催されたと聞いておりますので、今後検討会の経過を見ながら、考えていきたい。

Q 旧西中学校の跡地利用については。

A 旧馬山小学校解体について、小学校統合関連事業のため補助対象であるが、補助事業がなく一般財源での対応となります。今後、検討していきます。

以上、審査の結果、一般会計補正予算(第1号)は、原案のとおり可決すべきものと決しました。

総務常任委員長報告

総務常任委員会は、6月7日午後1時から、委員会室301において、委員全員出席のもと、本会議において付託された陳情1件について審査いたしました。

「陳情第1号義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国の負担割合を2分の1に還元することを求める意見書の採択に関する

社会経済常任委員長報告

社会経済常任委員会は、6月11日午前10時から委員会室301において、委員全員出席のもと、本会議において付託された陳情1件について審査いたしました。

陳情第2号地方整備局の事務所・出張所の存続を求

める陳情を議題とし、直ちに審査に入り、委員から地域住民の安全・安心を守るためには、地方整備局と地方自治体との連携が必要である等の意見があり、慎重審査の結果、陳情第2号は、全会一致をもって採択すべきものと決しました。

広域圏NEWS

富岡甘楽地方議会議員連絡協議会総会 & 講演会が開催される

去る5月24日富岡甘楽地方議会定期総会が、南牧村活性化センターにて開催され、富岡市、下仁田町、甘楽町、南牧村各議会議員が出席しました。総会も順調に進み、メインイベントであります講演会となりました。講師は、元県庁職員、(財)群馬県観光物産国際協会、山口章専務理事でした。演題は、「観光まちづくり」でした。内容の一端を紹介しますと、「どんなに素晴らしい自然、誇りうる歴史、立派な施設があったとしても住民の意識や活動が大変重要であり、住民一人ひとりが地域の良さを自覚し発言力を高めつつ交流を深めていくことが大切であります。

さらに、地域の魅力を発揮する重要な要素として、そこで生産される農林産物や、伝統工芸品などの地場産品、老舗の銘菓や料理など地域のブランドを確立していくことが肝要である。」とお話であり、大変意義ある講演でありました。



町の話題

各地の祭り・行事

市野萱の大日如来様について

山紫水明の地にご祭神してある大日如来様は、昭和15年8月27日に、解脱会会祖解脱金剛様によって、ご祭神されました。当時、この下仁田の地で、高崎市在住の中西氏が鉱山業を営んでいました。この鉱山の坑道で働いている人達が、鉱山から出る鉱泉の滴によって、あせもや水虫、皮膚病等の病気が治ってしまうことが、度々ありました。

このラジウムを含む鉱泉が全国に販売されていたこともあり、このように、尊いこの地に大日如来様をお祭りさせて頂こうということになり、ご祭神することになったのです。

その後、鉱山が閉鎖となり、この大日如来様も無縁となっておりまして、ところ

ろが、その後、数人の先生方に、金剛様が夢枕にお立ちになり、「下仁田の大日如来を世に出せ。」とお告げになりました。数人の先生方が一緒に、下仁田の地に向き、現地を捜しましたが、全く見つかりませんでした。大日如来様のことを知っている中西氏は、当時高齢で足腰が立たず、床に伏して、下仁田の山まで案内できる状態ではありませんでした。しかし、何とか、中西氏に案内して頂くこと、高崎中央支部の村上支部長の懸命の治療によって、めきめき回復し、案内ができるようになりました。一同揃って、下仁田に向き、道なき険しい山を登った所の岩の上に、祠があり、その中に、大日如来様がお祭りしてありました。

「資料提供・高崎市 村上美津枝さん」



編集室から

梅雨時期の6月に台風が上陸するのは、8年ぶりとの事ですが、蒸し暑い日が続く今の時期は、健康管理が難しいものです。自分の体を健やかに保てるように、規則正しい生活、早寝、早起き、軽い運動を心掛けて、冷房の使い過ぎには、注意をしましょう。節電も大切ですが、ご自分の体は、自身で気をつけて、元気でこれからの暑い夏を乗り切りましょう。

広報委員会では、6月24日に荒船風穴を視察しました。また、整備は、出来ておりませんが、明治からの歴史的資料として、素晴らしいものであると確信しました。駐車場での気温は、25度でしたが、風穴内は、14.2度、吹き出し口は、何と1.2度でした。施設内は、石垣の積み直し、

表紙の説明

世界文化遺産候補「富岡製糸場と絹産業遺産群」を構成する4資産の一つで、国史跡の「荒船風穴」。天然の冷風を利用して人工的に蚕種を貯蔵する技術が進み、明治半ば以降には、年2蚕、年内3蚕と増えていきました。

建屋の復元、駐車場が整備出来れば、神津牧場も近く、連携して観光客も増やせることが出来ると思いました。

矢嶋榮一

広報発行特別委員会

委員長

矢嶋榮一

副委員長

木暮弘元

委員

原秀男

高瀬政信

佐藤博

岡田武二

議会だより・会議録を
ホームページでご覧下さい。

<http://www.town.shimonita.lg.jp/>

問い合わせ先：電話82-2111（内線610番）